【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】令和4年11月25日(2022.11.25)

【国際公開番号】WO2021/214962
【出願番号】特願2022-516782(P2022-516782)
【国際特許分類】
Ｇ１０Ｋ 11/178(2006.01)
Ｆ１６Ｆ 15/02(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ１０Ｋ 11/178１２０
Ｆ１６Ｆ 15/02 Ｂ

【手続補正書】
【提出日】令和4年9月21日(2022.9.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
座席に着席したユーザに伝達される、前記座席の外部から前記座席に到来する振動をキャンセルする振動キャンセル方法であって、
振動キャンセル部が、前記座席における、前記座席の外部の振動源に近い位置に配置された振動センサにより得られた参照信号と、前記座席における、ユーザが着席したときに頭部が置かれる位置に近い位置に配置された誤差振動センサにより得られる誤差信号と、に基づき得られたキャンセル信号を、前記ユーザが着席したときに頭部が置かれる位置に近い位置から出力することで、前記振動をキャンセルする振動キャンセルステップを含む、
振動キャンセル方法。
【請求項２】
請求項１の振動キャンセル方法であって、
前記参照信号は、前記誤差信号に基づいて生成される、
振動キャンセル方法。
【請求項３】
請求項１又は２の振動キャンセル方法であって、
前記誤差振動センサは、マイクロホンである、
振動キャンセル方法。
【請求項４】
請求項３の振動キャンセル方法であって、
音キャンセル部が、前記座席における、ユーザが着席したときに頭部が置かれる位置に近い位置に配置された参照マイクロホンにより得られた参照信号と、前記誤差信号と、に基づき得られたキャンセル信号を、前記ユーザが着席したときに頭部が置かれる位置に近い位置から出力することで、ユーザが着席したときに頭部が置かれる位置に近い位置の音をキャンセルする音キャンセルステップを更に含む、
振動キャンセル方法。
【請求項５】
請求項１の振動キャンセル方法であって、
前記振動センサ及び前記誤差振動センサのそれぞれは、複数のセンサである、

振動キャンセル方法。

【請求項６】

請求項１の振動キャンセル方法であって、

前記振動センサは、前記座席の足又は背中部分に配置されており、

前記誤差振動センサは、前記座席のヘッドレストの近くに配置される、

振動キャンセル方法。

【請求項７】

座席に着席したユーザに伝達される、前記座席の外部から前記座席に到来する振動をキャンセルする振動キャンセル装置であって、

前記座席における、前記座席の外部の振動源に近い位置に配置された振動センサにより得られた参照信号と、前記座席における、ユーザが着席したときに頭部が置かれる位置に近い位置に配置された誤差振動センサにより得られる誤差信号と、に基づき得られたキャンセル信号を、前記ユーザが着席したときに頭部が置かれる位置に近い位置から出力することで、前記振動をキャンセルする振動キャンセル部を含む、

振動キャンセル装置。

【請求項８】

請求項１の振動キャンセル方法の各処理をコンピュータに実行させるためのプログラム。